

新潟 11 発走 15:45

第8回レパードステークス(GIII) (3歳オープン) 馬齢

Table with columns for race number (桃, 緑, 黄, 青, 赤, 黒, 白), horse name, jockey, and race details.

3勝馬2頭が中心
5ケイティブレブは、2走前の交流重賞勝ちを含め3勝。勝ち馬に4馬身差完敗の前走も、3着ゴールドリイム(ユニコーンS)着、0.3秒先着と逃げて崩れなかったのは地方の高さ。こまごまと戦、強敵相手に積みこまごまと距離で巻き返し濃厚。3走前伏電Sでは5に先着

2走前青電Sではキョウエイギアを負かしている6グリーンツェント。ダートでは馬券圏外なく安定。前走は最速上がりで3着だが、千八の方がレパードがしやすいタイプ。
逆転狙う組
7ピットボスは前走ユニコーンSで6とクビ差。G前差し切った前々走の切れはここでも上位で、上昇余地十分。3戦2勝2着1回と底見せて

いない魅力は2ネクストムープ。前走の走破タイムは翌日古馬側方条件戦と互角。内枠から逃げて運んだ要注意。前走逃げて崩れた12マイネルバサラだが、2走前はキョウエイギアにクビ差迫る好内容。脚をためる形で巻き返し。
3グランセブルス、1レガールは、前走3着の兵庫チャンピオンシップが上位勢と差を感じさせる内容。11オーシ

Table with columns for horse name, jockey, and race details for the 1100m race.

チャンピオンは初の千八で変わり身あればだが、どこまで。
1レガール
大久保龍師一頭では気分良く走っているが、併せるに稽古も気をつかう。力は持っているはずだが。
2ネクストムープ (上位可)
清水久師三戦ともいい内容で、厳しい展開でも頑張っている。

重賞でどこまで。
3ヨシオ
清水助手一以前の非力さは解消しているが、距離は少し長い。
4エネスク
和田雄師一久々の影響か、前回負負って走ってきた印象。体調面は確実に向上してきた。一度実戦を経験したことで気持ちのコントロールが利けば。
5ケイティブレブ
目野師一前はよく踏ん張っている。変わらず順調で体調は良さそう。ハナを切って自分の形で運べれば、上位を争えそう。
6グリーンツェント
加藤勝師一先、今週としっかり負荷をかけて、いい状態に仕上がった。ペースが出なかったが、走は位置取りの差が出なかった。ダート発走の新潟千八なら位置を取れるし、追走も楽。コース形態も合いそう。好レースを期待。
7ピットボス
清水久師一前回は厳しい展開だったが、最後までバテずに頑張った。やる気が出てきて、普段の仕草もトップシスターとして。
8ラテールプロミーズ
田村師一前走は初の関西遠征、OP特別としては相手力がそろっていただけに仕方がない。本格化は先でも、徐々に力をつけている。見せ場は。
9フォースリッチ
加藤勝師一前走は久々、キャラクターの浅さが出た格好だが、一度使って着実に良化。福島より新潟の方がレースもしやすい。重賞で何頭か強い馬はいるが、他との差はそれほどないはず。
10コパノリスボン
鹿屋師一「いい馬で、行く気がなれば行ってしまおう。折り合いをつけ、この距離に対応できるかが鍵。状態は凄くいい。伊藤師一」ここまで順調で状態はいい。距離も問題ない。

11オーシ
清水助手一以前の非力さは解消しているが、距離は少し長い。
12マイネルバサラ
和田雄師一久々の影響か、前回負負って走ってきた印象。体調面は確実に向上してきた。一度実戦を経験したことで気持ちのコントロールが利けば。
13コパノリスボン
鹿屋師一「いい馬で、行く気がなれば行ってしまおう。折り合いをつけ、この距離に対応できるかが鍵。状態は凄くいい。伊藤師一」ここまで順調で状態はいい。距離も問題ない。

Table with columns for horse name, jockey, and race details for the 1800m race.

1レガール
大久保龍師一頭では気分良く走っているが、併せるに稽古も気をつかう。力は持っているはずだが。
2ネクストムープ (上位可)
清水久師三戦ともいい内容で、厳しい展開でも頑張っている。

本紙の見解 千八歓迎グリーンツェント
馬単
6→5
6→2
6→7
5→2
6→12
6→13
6→12
6→13
6→1
3連複
256
567
5612
5613
156
267
2612
2613
126
展開
内 外 逃げ 好位 中間 後方
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
3連単
ファームエーション
1着 6
2着 125
3着 71213
(30点)



◎レバードS優勝馬の前走成績◎	1000m	333
21年トランセンド	1100m	315
22年ミラクルレジェンド	1200m	278
23年ボレーアス	1300m	246
24年ホツコータルマエ	1400m	238
25年インカンテーション	1500m	231
26年アジアエクスペレス	1600m	222
27年クロスクリーガー	1700m	220
	1800m	215
	1900m	213
	2000m	211
	2100m	205
	2200m	195
	2300m	185
	2400m	175
	2500m	165
	2600m	155
	2700m	145
	2800m	135
	2900m	125
	3000m	115
	3100m	105
	3200m	95
	3300m	85
	3400m	75
	3500m	65
	3600m	55
	3700m	45
	3800m	35
	3900m	25
	4000m	15
	4100m	5
	4200m	0



**究極の距離短縮配合**  
種牡馬としてのアドマイヤムーンはダンシングブレーヴに似ている。どちらも二四のGIを勝っているが産駒はマイラーが多く、距離短縮時に好走しやすいい。距離がもたないわけではなく、距離短縮時に好走しやすいいのは、「気が強いのに集中力が続かない」からだと思う。ダンシングブレーヴ産駒はG

**競馬人情**  
吉川良

横浜の川のほとりの、競馬好きの客が多い小さなバーで、「おれ、北九州の高校を出て、横浜の大王の親方の家に来た最初の夏、父親が車の事故でぶないうって小倉に帰ったんだ。なんとか父親が助かって横浜へ戻る前の日、父親がよく連れてってくれた競馬場にひとりで行ったんだよ。」

小倉記念。ナイズネイチャが勝ったんだ。馬券も当てて、おれ、ファンになっちゃったナイズネイチャが、有馬記念に3年連続3着で、複勝も買ったおれの神さまだったよなあ、ナイズネイチャ  
と短髪の男が言い、

**☆成績欄に前半3F時計☆**  
「各馬の前半3ハロン通過時計」を、成績欄の通過順の右横に表記しております。各馬のダッシュ力の比較、検討に役立てていただければ幸いです。なお、レースの流れは、馬体重の横に「H」ハイ、M平均、S「スロー」のそれぞれマル囲み表記で示してあります。  
なお、千メートルのレースについては、前半2ハロンの時計を表記しております。また、障害戦、一部の公営競馬については計測できませんので省略してあります。

I級のキョウエイマーチやキングヘイローも距離短縮時の好走が多かったが、条件クラスでも距離短縮時に穴をあけまくっていた。特にスナークスズランには奥多摩S等で大変お世話になりました。  
▼コウセン(新潟10R)は父アドマイヤムーン、母の父ダンシングブレーヴという究極の距離短縮配合で、一気の距離短縮となる千メートルは大歓迎。千四の前走はかりぎみだったが、ミラクルアイドル(前半21秒台を4回も記録)がいればスローはなく、自然に差しに回れる。

「今、おいくつになりました」  
おどけた口調で私が聞くと、「ヤクドシ」  
男が笑って言った。  
今週は小倉記念とレバードS。夏だなあ、とハイボールを見つめた私に、ガハガハと笑い声が聞こえた。  
北村宏司騎乗のミラクルレジェンドがレバードSを勝ち、馬主の表彰台に立った植物学者の広田伸七さんが、晩に祝杯をあげてガハガハと笑ってから、何年が過ぎたのだろう。  
広田さんが天国へ行ってしまっただけで2度目の夏。

「夏競馬、ああ夏競馬、夏競馬」  
レバードS。グレンツェントからケイティブレイブへの馬単1点。小倉記念はアングライブエンからダコールへの馬単1点勝負！